

2009年3月6日

～「当社初のFSC—FM※認証取得」～ インドネシア共和国でFSC森林認証を取得しました

住友林業株式会社（社長：矢野 龍、本社：東京都千代田区丸の内1-8-1）のインドネシア共和国にある木質建材製造子会社の K T I（PT. Kutai Timber Indonesia）は、2007年3月に植林協同組合（Koperasi Serba Usaha Alas Mandiri KTI、通称: KSU Alas Mandiri KTI、略称 KAM-KTI）を工場の後背地に設置。その後、FSCのFM認証取得を目的に同組合を基盤として地域農民（組合農民259人）との間で社会林業（152Ha）を進めて参りましたが、この度2008年12月22日付にて正式にその植林地区にFSC—FM認証が発行（認証番号：SA-FM/COC-002083）されましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

記

【 FSC認証取得の概要 】

KTIでは、FSC森林認証を受けた森林から伐り出された認証材を適正に分別管理して使用している事を証明するCoC認証を、2005年1月に取得しましたが、環境対策に先進的であったEU諸国のお取引先を中心に、原材料となるファルカタ材にFSC認証の強い要請もあり、FSC-FM認証を取得するべくチャレンジを開始しました。

認証取得実現のためには、様々な地域でその取組みを検証しましたが、2007年3月に東ジャワ州クルチル地区での植林協同組合（Koperasi Serba Usaha Alas Mandiri KTI、通称: KSU Alas Mandiri KTI、略称 KAM-KTI）を設立したのち、地域農民の協力のもと、ようやく認証取得の運びとなりました。

このFSC—FM認証は、地域住民が所有するコミュニティフォレストが認証を取得したもので、地域住民の協力と、地域に根ざしたKTI社の粘り強く地道なサポートなしには実現しなかったものです。

なお、認証に際してはFSC認証機関であるWoodmark Soil Association (英国)、およびMutu Agung Lestari(インドネシア共和国)によって、2008年3月にPre-アセスメント、同8月にFinal アセスメントを実施しております。

KTI社では、今後FSC認証材を使用した商品についてFSCラベリングを実施します。今回はEU諸国向け商品であり、数量はまだまだ少量（製品ベースで100～200m³/月）ですが、今後の戦略商品として、KTIでは環境価値の高いFSC商品を製販ともに強化して行く予定です。なお、FSCのラベリングは2009年4月から実施する予定です。

今後は、今回の認証を成功事例として、対象植林面積を増加させていき、住友林業の経営理念（木を活かす）と環境理念（環境への影響を認識し、環境保全と調和）に基づき、当社グループ全体で環境価値の高い商品づくりに一層取り組んでいく所存です。

注) FSC—FM認証とは

FSC (Forest Stewardship Council、森林管理協議会) は、生産を行う森林や製品、流通過程の評価、認定、監督を行う国際機関の一つです。森林の管理・経営を対象として適用されるFM認証 (Forest Management Certification) と、認証森林の林産物を加工・流通過程の管理を対象としたCoC認証 (Chain of Custody Certification) の二つがあります。基準を満たした事を保証するラベリング (FSC認証マーク) を伴う制度です。



FSC Trademark(C)1996
Forest Stewardship Council
A.C.-FSC-SECR-0025

[参考資料へ](#)

以上

《本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐野・佐藤

TEL：03-3214-2270

FAX：03-3214-2272